

自主臨床研究

血液腫瘍・免疫グループ

健康小児骨髄移植ドナーにおける末梢血 および骨髄液中のWT1 mRNAの測定

実施期間	2015年3月31日
研究機関	大阪大学医学部付属病院小児科大阪府立母子保健総合医療センター
主任研究者	杉山治夫
研究目的	Wilms Tumor 1 (WT1) 遺伝子は成人急性白血病のほとんどにおいて過剰発現しており微小残存病変(minimal residual disease : MRD)の検出として有用性が示唆されている。しかしながら小児においては末梢血および骨髄におけるWT1 mRNAの正常値が明らかではない。このため健康小児の末梢血および骨髄液中のWT1 mRNAの測定をおこない正常値を設定する。
対象	1歳以上、15歳以下で血縁者間移植における骨髄移植ドナー。
プライバシーの保護	個人識別情報とリンクしない

本研究に関する問い合わせ先

大阪大学大学院医学系研究科 小児科学
橋井佳子